

博士前期課程（修士） / 健康看護学領域 / 看護管理学分野

科目コード：270004

看護管理演習 Seminar in Nursing Administration

| | | | | | |
|---------------|---|-------------------------|-------|------|-------|
| 担当教員 | 石川 倫子、今井秀樹、南條裕子、田中 智恵子 | | | | |
| 実務経験 | | | | | |
| 開講年次 | 1年次後期 | 単位数 | 4 | 授業形態 | 講義・演習 |
| 必修・選択 | 選択 | 時間数 | 90 | | |
| Keywords | 看護管理、問題解決 | | | | |
| 学習目的・目標 | <p>学修目的：看護サービスの視点から、医療提供施設における看護管理上の事例を系統的に分析し、看護管理について演習する。</p> <p>学修目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事例における問題を構造的に分析し、問題ならびに問題を構成する要因を明らかにして説明できる。 2. 明らかにされた問題を解決するための方策を立て、根拠をもとに目標を設定することができる。 3. 問題解決ならびに成果を評価する方法を明らかにして示すことができる。 4. 問題解決のための一連のプロセスを明瞭・簡潔に表現し、研究計画書としてまとめる。 5. 研究計画書の実現性、妥当性について多角的に検討することができる。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | 授業方法 | 担当 | | |
| 1 | ガイダンス・演習計画 | 講義 | 石川 | | |
| 2～5 | 問題解決思考（問題の焦点化・業務改善） | 講義・討議 | 田中・石川 | | |
| 6～9 | 看護管理に関する研究課題の理論的枠組みと研究方法の明確化 (1) 以下の概念や理論の中で、自己の研究課題に関連する論文のクリティック変化理論、学習理論、動機づけ・自己効力感行動変容理論、意思決定など | プレゼン・討論 | 石川 | | |
| 10～11 | 質問紙調査（調査用紙の作成、データ分析） | プレゼン・討論 | 今井 | | |
| 12～13 | 面接調査（方法・データ分析） | プレゼン・討論 | 石川 | | |
| 14～15 | 実装研究の実際 | プレゼン・討論 | 南條・石川 | | |
| 16～21 | 看護管理に関する研究課題の理論的枠組みと研究方法の明確化 (2) 研究課題の理論的枠組の検討 | プレゼン・討論 | 石川 | | |
| 22～27 | 看護管理に関する研究課題の理論的枠組みと研究方法の明確化 (3) 研究課題と検討 | プレゼン・討論 | 石川 | | |
| 28～35 | フィールドワーク計画立案と実際 | プレゼン・討議 フィールドワーク | 石川 | | |
| 36～39 | フィールドワークにおける事例分析 | プレゼン・討論 | 石川 | | |
| 40～45 | フィールドワークの成果を踏まえた研究計画の検討 | プレゼン・討論 | 石川 | | |
| 教科書 | なし | | | | |
| 参考図書等 | 授業の中で適宜提示する | | | | |
| 評価指標 | 授業参加状況（40％）、フィールドワークの計画立案・報告（30％）、レポート内容（30％）から評価 | | | | |
| 関連科目 | 看護管理特論、看護組織論、人的資源活用論 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 組織の改善、特別研究に向けて自己の研究課題を明確にするためにフィールドワークへ出かけます。積極的な討論を期待します。 | | | | |